

講義科目名称： キャリアデザイン

授業コード：

英文科目名称： Career Design

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
萩原 憲二, 梅林 厚子, 柴山 浩一, 田岡 昌大, 徳留 由貴			
月4			
添付ファイル			

科目の概要	<p>「キャリアデザイン」を「自分の将来像を明確にすること」ととらえ、大学での生活について、将来の職業人としてのあり方について、そして、自分らしい生き方について、認識を深め、構想し、実現に向けた認識を深めていく授業である。</p> <p>本講義では、自分の「夢」を実現するために、現状の自分の経験やスキルベースを再認識し、「ありたい将来像について」を考慮しながら、自らの持つ能力を活かすための「大学生活のキャリアデザイン」の形成を進めていく。授業は社会人としてのマナーやコミュニケーション力の向上に関する内容も若干含む。</p>
授業の内容	<p>第1回 キャリアデザインの概念理解 入学までの自分をふりかえるワーク。 シラバスを読み、「キャリアデザイン」についての理解を深めておくこと。 「キャリア」についてARSを使って、個々の捉え方の差異を確認し、認識を深める。</p> <p>第2回 アイスブレイク（チェーンレッスン）の実践 今の自分の方向を示唆した人との「出会い」に関するワーク。 1回目で示した「人との出会い」にもとづいた内容について、個別のワークの後、ペアで交流して、認識を深める。</p> <p>第3回 ペアワーク「昨日の出来事」「図形あて」、個別ワーク「ライフライン」 2回目で示した小学校以後の自分の「人生」の浮き沈みを「ライフライン」として個別のワークで作成することによって、自分のこれまでの生き方について認識を深める。</p> <p>第4回 職業レディネステスト(1) 職業レディネステストによって、現在の自分の特性を多面的に知ることを理解し、個別ワークで深く理解する。</p> <p>第5回 職業レディネステスト(2) 4回目に続いて職業レディネステストによって、現在の自分の特性を多面的に知ることを理解し、個別ワークで深く理解する。</p> <p>第6回 「大学で学ぶことの意味」の「ジグソー法」による資料読解 (1) 「大学で学ぶことの意味」に関する資料を個別に読解した後、その後グループワークを行う。</p> <p>第7回 「大学で学ぶことの意味」の「ジグソー法」による資料読解 (2) 「大学で学ぶことの意味」に関する資料を個別に読解した後、その後ジグソー法によるグループワークを行い、認識を深める。</p> <p>第8回 就労観の醸成ー「働くことの意味」 大学の中の職種について理解した上で、大学で働く意味について、個別にイメージを持った上で、グループワーク「大学で働くこと」のインタビューの計画(グループワーク)を立てる。その後、インタビューをする教職員へ連絡を取り、グループ毎にインタビューを実施する(講義時間外)。</p> <p>第9回 ピアリーダーによる授業 ピアリーダーによる授業によって、働くことの意味を深める。</p> <p>第10回 「大学で働くこと」のインタビューの実践報告 グループ毎に発表し、全体でのディスカッションを行う。キーワードをARSを使ってまとめていく。</p> <p>第11回 テーマ講義(1)「なぜ学ぶのか」受講と個別ワーク(要約・まとめ) 講師の内容を自らの「働くことの意味」と結びつけてまとめていく。</p> <p>第12回 テーマ講義(2)「教育者とは・保育者とは」受講と個別ワーク(要約・まとめ) 講師の内容を自らの「働くことの意味」と結びつけてまとめていく。</p> <p>第13回 箕面市立西小学校のサタデースクール参画 グループ別に土曜日に箕面市立西小学校の「サタデースクール」に参画、参加の様子を事後にまとめる。</p> <p>第14回 箕面市立西小学校のサタデースクール参画 グループ別に土曜日に箕面市立西小学校の「サタデースクール」に参画、参加の様子を事後にまとめる。</p> <p>第15回 サタデースクールのふりかえりと全体のふりかえり グループワークで、参画の様子を振り返る。 ピアリーダーからメッセージ。授業アンケートへの回答。</p>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の学び方・働き方・生き方を考え、4年間の大学生活の見通しをもつことができる。 ・社会人としての振る舞いを理解し、実践していこうとする態度を身につけている。 ・傾聴力、口頭や文章でまとめたことや考えたことを表現することができる。
授業の方法	<p>【授業形態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義形式 <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの学びと個の活動をバランスよく配置してすすめます。また、上級学生(2年次生～4年次生)が一部の授業にS A(スチューデント・アシスタント)として関わります(ピアリーダー制度)。

	<ul style="list-style-type: none"> ・第2、3回は、「出会い」、「昨日の出来事」を個別のワークとグループワークで認識を深める。 ・第7、8回は、「ジグソー法による資料読解」をグループワークで行い、理解を深める。 ・第10回は、教員へのインタビューの後、プレゼンテーションによって認識を深める。 ・グループ別に土曜日に実際に小学生への働きかけを通して、自らの特性について理解を深める。 <p>【ICTを利用した双方向授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーディエンスレスポンスシステム (ARS)」により理解度を確認しながら、授業を進める。
成績評価の方法	各回毎の活動態度と内容：30点，サタデースクール参加状況（レポート含む）：20点，提出課題・成果物：50点として評価する。
教科書・テキスト	プリント資料を配付する。
参考書	授業内にて適宜紹介する。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	保育士や教員など、職業人になろうという使命を自覚し、現在の社会の動向や教育上の諸問題などに関心を向けておくことが望ましい。そのためにも、関連の書物を読んだり、新聞やWEBでニュースを読んだりする習慣を身につけてほしい。授業の中で、次の週までを期限とした課題が全員に課されることもある。
履修上の留意事項	グループやペアで行うワークが多く設定されているので、欠席をすると他の出席者に迷惑がかかってしまう。欠席することのないよう、体調管理にも十分留意すること。
オフィスアワー	火2限、水4限、（萩原研究室、4-604） 他の担当教員のオフィスアワーについては授業の第1回目に知らせる。
担当教員への連絡方法	k-hagihara※osaka-aoyama. ac. jp（※を@に変える）、4号館604 他の担当教員への連絡方法については初回の授業時に連絡する。
その他	